


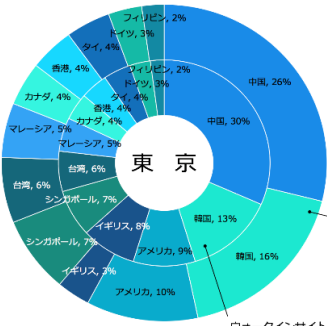
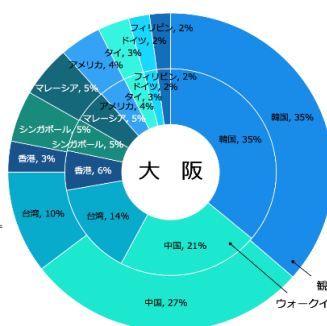
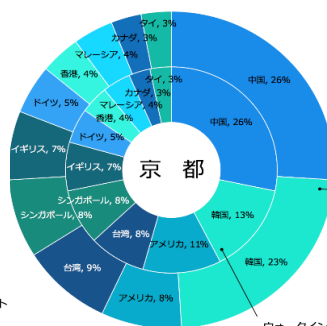


○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)~(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<div style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 10px; margin-bottom: 10px;">技術の概要</div> <p>Wi-Fiオン状態の携帯端末が数秒~数分置きに発信するWi-Fiプローブクエスト情報を、空港や駅、集客施設等に予め設置したIoTセンサー機器により収集し、センサー近接者の人数や滞在時間、居住国(国籍を推定)別の判別カウント、センサー設置箇所間の周遊や移動時間を推定する機能を有する。レンタルSIM、国際ローミング、ポケットWi-Fi、フリーWi-Fiなど、国別に利用傾向の異なる通信手段を問わず、Wi-Fiオン端末であればアプリ不要で観測できるため、定量データの把握が難しいとされる訪日外国人の国別行動傾向を、施設単位で、偏りなく、大量サンプルを取得した調査ができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100%;">特徴1 独自センサーを設置</div>  <p>※アプリインストール不要</p> </div> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100%;">特徴2 設置拠点間の周遊把握</div>  </div> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100%;">特徴3 国籍推定(29ヶ国対象)</div>  <p>特許第6397433号</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">参考：観光庁統計「訪日外国人消費動向調査(平成27年10月~12月期)」との国籍割合比較</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>東京</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大阪</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>京都</p> </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">※上記センサー調査(ウォークインサイト)は特定箇所で開催しており、対象エリア全域をカバーしたものではありません。</p> <div style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 10px; margin-top: 20px;">実績等</div> <p>平成30年度経済産業省産業データ共有促進事業にて、福岡空港・北九州空港国際線ターミナル、博多港国際ターミナル・クルーズセンター及び太宰府市内11箇所にて調査・分析実施したほか、地方自治体・民間施設に多数導入。これまでに500箇所1,000台以上のセンサー設置実績あり。</p>	<p>(1)</p> <p>(2)</p>

(2)(1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ

課題の分類

解決する課題

観光・地域活性化においては、地域への流入出時間や滞在時間を、団体客や個人旅行客別に把握し、観光消費拡大のための受入整備、誘客等の施策導出に繋げるほか、交通結節点や主要観光地に設置したセンサー情報より、地域やセンサー設置店舗への来訪者数の精緻な予測の根拠と一つとなるデータを収集し、飲食店であれば当日の食材仕入れや配員計画を最適化し、売上・利益を増大させることを目的とした施策に活用することが可能となる。また、混雑情報の地域共有により、効果的な地域回遊施策の素地となり、観光客の時間的空間的な分散が実現できる。

また、交通・モビリティにおいては、電車・路線バス等公共交通機関の駅・停留所等にセンサーを設置して、交通機関ごとの利用者ボリューム、旅行速度、混雑等の状況を観測し、輸送計画に活用すること等が可能。例えば、複数交通機関の施設のポイントごとに設置して相互間の移動状況を推測したり、交通機関の施設混雑状況を把握することで、他の交通手段の利用を促すような仕組みが構築可能となる。また、混雑箇所に表示する広告やお知らせなどを、センサー近接者のボリュームや居住国割合に基づいて設計する施策に活用することもできる。

アウトプットイメージ



(ア)
(オ)

(3)その他

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
株式会社コロプラ おでかけ研究所事業部	酒井幸輝	03-6721-7784	odekake-ml@colopl.co.jp